V	に	る		2	学	
 が	自	ے	私	て	生)
で	分	ح	£	V	で	<i>O</i>
き	た	が	`	る	中	グ
る	ち	あ	自	割	学	ラ
ك	で	り	分	合	生	フ
よ	乱	ま	の	が	の	カゝ
V \	れ	す	言	`	言	Š
<u></u>	に	が	葉	72	葉	わ
思	気	`	づ	%	づ	カン
٧١	づ	ے	か	ŧ	か	る
ま	٧١	の	٧١	٧١	٧١	Ĺ
L	て	市	に	る	が	کے
た	`	の	つ	ے	乱	は
0	よ	中	٧١	ح	れ	`
	٧١	学	て	で	て	Ĺ
	言	生	指	す	V	の
	葉	の	摘	0	る	市
	づ	よ	さ		ك	の
	カュ	う	れ		思	中

がけよう。 (読む人に伝わるように)書くことを心自分の考えや意見を、わかりやすく

七 行

て び き

文 章 1= ま لح め て 書く 力 を つ け る に

は

※ と付ポ めいて てンきト る \Box て、 ツ を を お 見書 さ くえて け てと 書 みがく ま苦 \subset 手 لے ょでを うは習 な慣 くに なす り る まと, す 0 自 こ分この で考 はえ を 教ま 材と 5め をて 例 文 に章 に 書書 11 < てカ まが

ポ 'イ ン ト ※

課 題 を 正 確 1= 理 解 す る

1

※ ② ① 何 つ 7 書 < ?

書設に 問 読 で し ょ う。

< 課をい 題 はん つみの あま り ま す。

「グラフ か 5 わ カュ ること」

・「それ に 対 す る 自 分 \mathcal{O} 考え」

|課 題 的 確 えに こ た え る

2

* ① 課 題 に こた 基 となる 資 料(今 は グラフ)を

読

み

取

る

☆何 を る表 し のた み中グ

あ 市 に 中 学 (上 生 事の 言 葉 づ カュ V に 9 V て 調 査 L た 果

* 「グラフからま か読 い 取った 学生に アラフ? たこ・ 実)と それをもとにして考えたこと(= 意 見)は

け

る

2 5 ること」っ て 何 ?

「 中 ま 学 つ生 た \mathcal{O} < 思 葉 わづ なか が 乱 中 学れ 生て 一は9パー 2 セ 7 V \vdash る 5 中 °学 る 生 が 70 パ セ ン \vdash 以 上 11 る

3 そ 乱れ れに す る 自 分 え の皆中て 学 何 が合こ生が大がれがあ る

ŧ

 $\stackrel{\wedge}{\sim}$ て V る とて と思 0 て いれいん らのに 高かい る は 制て思思 な がのがか

 $\stackrel{\wedge}{\sim}$ ま つ たく から) 思わ な 11 中意 組学外 の生! 割 こでこ かいな のくなってなっ くな っと 作いいわ くな ら 気か な話た ? L

て

1

る

 \mathcal{O}

カン

な

?

→(だから) テ 番 き ح 思 う 側 を つ け て ほ L 1

 $\stackrel{\wedge}{\sim}$ そ \mathcal{O} 他

3 件 を 満 た て <

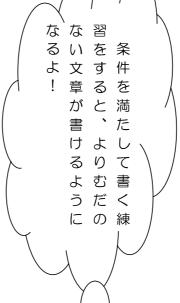
* 件 確 第制認 ょ

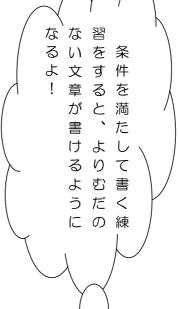
(1): 限 字 数

条条条 段件件件 3 2 : 定段段 さ落落 れのの た内内 内容容 容指指 の定定 書 き 出 L 0 指 定

: 第

* 落 \mathcal{O} 指 書 き 方 に 注 意 !





文 章 の 組 3 <u>寸</u> て を 考 える

4

※ を تلے う 61 で書

② ① 何 条件 を 満 たうせ順 ば、で書 分の考え」をそれぞれ一文で表して、わかること」「それに対する自分の考』いたらいいのかな? え 0) 順 で か

わ かること」「自 グラフ からわかることは、中学生の 言葉づか V が カン れ んな て たんに組み立ててみる V ると思 ってい る 中学 生 が 70

以 けなければないと思 ばい いなが なら い話 のし でて はい なる いの かか ŧ L れ な V と す れ ば 乱 れ て 11 な

付けなけ

セ

 \vdash

上

いることである。

5 文 章 て لح ع の え る

* 件 \mathcal{O} 字 数 合うように、 4 で 書 61 た 文に 肉 付 け

7

つなぎ

合

わ

せ

L	復	わ	L		の	
ま	習	6	は	中	方	わ
L	L	ず	初	学	法	た
た	学	困	め	校	は	L
0	習	Ŋ	て	に	`	が
	を	ま	の	は	復	み
	積	L	テ		習	な
	み	た	ス	定	で	さ
	あ	0	۲	期	す	6
	げ	そ	の	テ	•	r
	る	တ	時	ス		お
	Z	時	I=	٢		す
	٤	に		が		す
	が	毎	範 は	あ		め
	大	В	囲い	Ŋ		す
	切	⊐	の	ま		る
	だ	ツ	勉	す		家
	٤	_	強	0		庭
	実	ツ	が	わ		学
	感	٢	終	た		習

教材 6- (2)

の解答例2

U	あ	Ŋ	Ŋ		の	
<	Ŋ	の	授	な	方	わ
٤	ま	頃 5	業	ぜ	法	た
`	L	は	の	な	は	L
集	た	`	進	6	`	が
中	0	授	度	ば	予	み
L	L	業	ŧ	•	習	な
て	か	I	速	中	で	さ
臨	L	つ	い	学	す	ん
め		い	か	で	0	I
る	教	て	6	は	予	お
よ	科	い	で	教	習	す
う	書	け	す	科	は	す
I=	を	な	0	ご	効	め
な	読	<	入	٢	果	す
IJ	み	な	学	先	的	る
ま	予	る	L	生	で	家
L	習	٦	た	が	す	庭
た	L	٤	ば	か	0	学
0	て	ŧ	か	わ		習

体験をいれることがポイントです。 困ったこと、うまくいったことなどを思 い出してみましょう。



教材6-(2) 《 て び き 》 文章にまとめて書く力をつけるには

※ポイントをおさえて書くことを習慣にすると、自分の考えをまとめて文章に書く力が付いてきて、書くこと が苦手ではなくなります。ここでは、教材5を例に、書いてまとめるコツを見つけてみましょう。

《ポイント》

課題を正確に理解する

※何について書くの?

①設問を読んでみましょう。

②書く課題は二つあります。

「家庭学習では、予習と復習どちらが効果的か」

・「そのように考える理由

課題に的確にこたえる

2

※課題にこたえる基となる自分の立場を決める

①家庭学習を効果的にするに、私は「予習」 派 ?

☆実際の自分の考え方で立場を決める。

※立場を決めた基となる自分の考えを明確にする

②なぜそう考えるの?

☆「予習」派 … 教科ごとに先生がかわり、進度もそれぞれちがう。内容を先取りしておくと集中できる。

☆「復習」派 … 中学校には定期テストがあり、 範囲も広い。 コツコツと復習して理解を深めておかないと、 テスト前

にあわてることになる。

☆他にはないかな?

3 条件を満たして書く

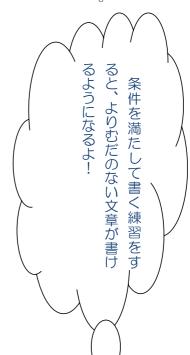
※条件を確認しよう

条件①…制限字数

条件②…第一段落の内容指定、「予習」「復習」のどちらか。

条件③…第二段落の内容指定

※各段落の、指定された内容の書き方に注意!



4 文章の組み立てを考える

※何をどういう順番で書いたらいいのかな?

①条件を満たせば、「立場」「そう考える理由(自分の考え)」の順で書くしかない。

②「自分の考え」を箇 条 書きで表して、かんたんに組み立ててみる

☆復習、 ☆予習、 教科担任制、 定期テスト、 授業進度の違い、先取り、気持ちのゆとり 範囲の広さ、こまめに復習、テスト直前にあわてないように

5 文章としてととのえる

※条件の字数に合うように、4で書き出した箇条書きに肉付けしてつなぎ合わせる。

教材 6-(3) 文章を書くこと《解答例》

よう。 を説明しますか。最も伝わりやすい、また部活動に入りたくなるような説明の方法とその理由を、あとの《条件》を満たして書きまし 新入生オリエンテーションの一環として、教室で部活動の説明会を行うことになりました。あなたならどの方法で自分たちの部活動

年

組

番

名 前

C B A ポイント 部員全員

【説明の方法】

- ポイントをまとめたフリップを示しながら説明する。
- 部活動中の部員たちの写真を見せながら説明する。
- 部員全員で書いた勧誘用のポスターを用いて説明する。
- 補助的なものは何も使わず言葉だけで説明する。

D

《条件》

- 一〇〇字以上一五〇字以内で書くこと。
- 二段落で書くこと。

2

一段落目にはどの【説明の方法】を選ぶのか書き、二段落目にはその理由を書くこと。

<	を	す		明	
な	写	0	な	L	わ
IJ	真	わ	ぜ	ま	た
•	で	た	な	す	L
ゃ	見	L	6	0	な
つ	て	た	`		ら
て	も	ち	-		`
み	ら	が	百		活
た	う	真	聞		動
い	٦	剣	は		中
٢	٢	に	_		の
い	で	練	見		部
う	•	習	に		員
気	わ	L	L		た
に	た	て	か		ち
な	L	い	ず		の
る	の	る	L		写
٢	説	姿	だ		真
思	明	や	٢		を
い	ŧ	`	考		見
ま	分	試	え		せ
す	か	合	る		な
0	Ŋ	の	か		が
	や	様	6		ら
	す	子	で		説

の	\$	が		な	体	۲	
方	の	調	食	٥	で	ル	私
に	が	査	7,	て	の	は	は
取	ど	を	残	۷١	食	`	$\left(\mathbf{c}\right)$
材	う	行	し	る	~	_	ı
し	な	۷١	量	カュ	残	食	つ
て	P	綽	調	IJ	し	7	い
記	7	果	7	٥	量	残	て
事	٧١	を	は	8	調	し	取
に	る	表	`	て	~	の	IJ
し	カュ	に	期	調	ځ	ゅ	上
しま	かに	にま	期間	調べ	ح ,	ゆく	上げ
ま	に	ま	間	~	`	<	げ
ます	につ	まと	間を	べま	残	く え	げま
ます	とっい	まとめ	形を決	べます	残し	く え _	げ ま す
ます	について	まとめま	間を決め	べます	、 残 し た	くえ	ます。
ます	について	まとめます	間を決めて	べます	残したも	くえってす	げ ま す 。
ます	については、	まとめます。	間を決めて給	べます	、残したもの	くえ」です。	げ ま す 記 事

た	果	査		_	۲	
だ	を	し	家	で	ル	私
き	₽.	て	で	す	は	は
`	٤	•	₽	0	`	B
記	に	人	食		_	12
事	調	気	7		家	つ
묏	理	メ	٢		で	い
ぉ	員	11	み		作	て
٤	の	Н	た		れ	取
め	方		5		る	IJ
#	カゝ	を	献		お	上
す	ß	決	立		٧٧	げ
0	作	定	を		し	ま
	り	し	ア		V١	す
	方	ま	ン		給	0
	を	す	ケ		食	記
	教	٥			メ	事
	え	そ	ŀ		=	の
	て	の	で		ユ	タ
	۷١	<mark>結</mark> 100	調			イ

結	の	立		れ	0	7	
果	か	の	神	と	神	ル	私
を	を	中	奈	W	奈	は	は
グ	栄	で	Л	る	Л	,	A
ラ	養	`	県	0	県	Г	ΙΞ
フ	士	بخ	産	か	産	給	つ
に	6	8	6	を	8	食	い
ま	方	'	齨	紹	食	ĸ	7
と	Ŋ	Ś	菜	尓	材	丑	取
め	7	۷١	や	し	が	さ	IJ
る	ン	の	肉	ま	هل	れ	上
ょ	タ	割	な	す	の	る	げ
う	Ľ	合	بخ	0	<	地	ま
に	Ħ	で	が		8	元	す
し		使	`		٧١	の	0
ま	し	わ	_		給	食	記
す	て	れ	ケ	_	食	材	事
0	•	て	月		で		の
	そ	۷١	の		使	で	タ
	の	₀₀ る	献		わ	す	イ

教材 6―4の解答

文章を書くこと

組

番 名前

٥	を	₽		٥	7	
	ま	の	給		ル	私
	と	に	食		は	は
	め	<u>ک</u>	の		`	(E)
	`	٧٧	メ		ſ	ΙΞ
	み	て	=		IJ	っ
	ん	•	크		ん	い
	な	ア			な	て
	の	ン	の		給	取
	願	ケ	中		食	IJ
	V		で		が	上
	ح	٢	ŧ		食	げ
	し	で	2		~	ま
	て	調	논		た	す
	記	査	出		٧٧	٥
	事	し	し		な	記
	に	て	て		!	事
	し	`	ほ		_	の
	ま	結	し		で	タ
	す	果	۷١		す	1



下げて書き始めようね!「段落」のはじめは、一 て記事を作成するのかを書こう。 字 ★原稿用紙とは違 も行のはじめに も行のはじめに

えて、

-調査等)

二段落目には、取り上げたものについてどのような活動(インタどて、「記事のタイトルは、」の書き出しに続けて、簡潔に書こう。一段落目には、寄せられた意見や質問の中から一つを取り上げ、2

(インタビュー、

アンケ

その内容を踏ま